

# イケイケンサ 策上げチ ヌンケイ 売デツ (読社) 新聞三 質イケる! 警弾糾 大阪府の断 (質日) 悪毎動

## 三新聞社の警察の御用新聞化を許すな!

労働者、市民、及び報道機関に従事するみなさん、  
新聞等の公共の報道機関は「公正な報道」をしないと宣伝され、又、一般的に「マスコミは中立」であると信じられています。

それは、戦前の報道機関が、天皇を軸として軍国主義を讃美し、人民を戦争に待り出し、数千万人のアジア人民を殺戮し帝国主義戦争に加担したことの反省としてあつたハズです。

さしくもきよう八月十五日は帝国主義(軍国主義)敗北の三十四周年に当ります。しかし、はたして今日の報道機関は、戦前の「大本営発表」の御用機関(宣伝部の役割から脱しきれているのでしょうか。

さる六月二十六日の読売、サンケイ、毎日の三紙は、さきいふ一週間の「傷害事件」を「三井物産ビル爆破に關係か」(読売)、  
「爆破事件関連も追求へ」(サンケイ)、  
「三井物産ビル爆破追求」(毎日)と、それぞれ見出しを付け、大阪府警のタッチ上げ策動、別件逮捕に協力し、フレームアップ記事を流しています。

私たちは、こうした府警のドス黒い野望をそのままタレ流し、タッチ上げ弾圧の「世論」作りを實質的に担う三社に対し、戦前の暗黒の力ケをみざるをえません。戦争に反対して斗った人々は当時の特高によりタッチ上げられ、「非国民」としてヤミに葬りさらされました。それが現在は「過激派」としてやられようとしているのです。

商業新聞であるから売り上げをのほすことは至上命令であるとして、フレームアップ記事をよりセンセーショナルに書きたてているとしたら、これは大きな社会問題です。こうした新聞社の体質は強引な新聞勧誘等にも表われています。

「傷害事件」によって逮捕された四名の鉄筋労働者はすでに七月二十六日まで保釈になっています。今回、府警のタッチ上げ策動は失敗したかにみえます。しかしながら、その後も二名の釜ヶ崎労働者が不当にも逮捕されており、釜ヶ崎はまさに警察の「無法地帯」です。

釜ヶ崎ではすでに七四年三月に「西成アイリンセンター爆破事件」で五名



の労働者がテツチ上げられ、このことが直接、間接の原因となり、二名が死すると云う許しがない暴挙が行なわれております。この内五年間の長期勾留を強いられていた二名の労働者に今年三月に無罪の当然の判決があり、大阪府警のテツチ上げであったことが増々明白となつてきています。

私たちは再び「爆弾事件」により、テツチ上げの魔手をのぼつとしていた大阪府警の横暴をくり返させないために断固として闘う決意です。

同時に、警察のテツチ上げ策動を「世論」作りとして補完し、積極的に加担している新聞社に対し、するどい糾弾の刃をつきつけて行くことを考えています。戦前戦後を通じて「お」にシッポを振り続け、売り上げをのぼすためにはウソツッパチをよりセンセーショナルに書き立て、社会正義をわじ曲げるマスコミの体質は人民の名によって断罪されなければなりません。

新聞報道のテマゴヤー性をみぬき、不正義を容認せず、これと闘っていくことを訴えます。

○釜ヶ崎への爆取テツチ上げ弾圧粉碎!

○新聞社「マスコミはテツチ上げ策動に加担するな!

○公安警察と一体となつた爆弾「犯人」テツチ上げ弾圧を許さないぞ!

一九七九・八・一五

釜ヶ崎6・26不当弾圧を粉碎する会